



第316号 平成30年3月10日発行
 公益社団法人 三田市シルバー人材センター
 〒669-1323
 三田市あかしあ台5-32-2
 電話 564-7501
 FAX 553-1300
 Eメール sandasilver631015@sandasc.org
 ホームページ <http://www.sandasc.org/>

第6回 理事会で、次年度に向けての取り組み協議

2月23日に行われた第6回の理事会では、本年度の決算見込みと次年度の予算、事業計画に関する方向性についての協議がされました。

決算見込みについては、経費を抑えられたものの事業実績が伸びず、本年度も赤字決算となる見込みで、次年度に向けても、補助金が減額されるなど厳しい状況が予想されます。

その様な状況により、次年度の事業計画は、本年度以上に経費を抑える必要が迫られますが、設立30周年に関する事業や、シルバー感謝祭、次期中期計画の策定、適正就業の推進、事務局体制の見直しなどについて、前向きに進めることとなりました。

来月の理事会で、次年度予算と事業計画を具体的に協議する予定です。

第4回 地域班連絡会開催

この時期の連絡会は、地域班での行事もほとんど終了しており、次年度の活動助成金の概算や、次期地域班の役員に関する状況確認等となりました。

どの地域班も役員の後任探しが困難な状況で、中には後任の依頼をすると、「退会する」と言う頑なな方もおられるようです。

入会時の「入会承諾書」には、地域班の活動にも協力する旨が謳っており、事前に理解を得たうえで、署名捺印されていると思われるので、その点の強調することも必要ではないかとの意見もありました。

今後も、会員の理解を得るため、コミュニケーションを深めつつ活動することが必要とされそうです。

自治会員向けの広報活動スタート！

来年度より、初の試みとなる自治会員に焦点を当てた広報活動を2つ開始します。1つ目は、市内全域で使用される回覧板にシルバーの広告を掲載することです。回覧板への広告は、安価かつ、長期間、市内の隅々の方まで見て頂けることが期待できます。



回覧板用広告

公益社団法人
三田市シルバー人材センター

自治会員様限定 **10%割引**

※支払いは必ずお振込ください。お振込期間：平成30年7月末日まで

植木剪定	障子・襖張り替え
刃物研ぎ	障子の張り替え
植木の水やり	・・・などなど

ご依頼、お振込はお電話にて・・・

三田市あかしあ台5-32-2
TEL. 079-564-7501 FAX. 079-553-1300

10%割引チケット

2つ目は、ウッディタウン内4地区（あかしあ台・すずかけ台・けやき台・ゆりのき台）の自治会報に、自治会員のみが使用できる10%割引チケットが掲載されることです。ちなみに、当センターがあかしあ台の自治会員になったことから、この掲載料は無料でした。

どちらの広報活動も、自治会員活動に乗ったPRであることから、効果良く、新規受注や会員増強に期待が出来ます。

働きたいシニア応援のつどいに参画

2月28日(水)午後1時半より、ハローワーク三田の2階にて、60歳以上の方を対象に、ハローワーク主催で、三田市と当センターが共催となる初めて相談会が開催されました。

どの程度の参加者が見込めるか全く分かりませんでした。午後1時からの受付開始には、既に待たれている人も多く、高齢者の仕事への関心の高さが伺えました。

当センターも相談窓口を設け、2名の職員で対応しましたが、開始と同時にテーブルは埋まりっぱなしで、シルバーの概要、入会手続き、お仕事の内容などの説明に終始追われました。

あっという間に予定の2時間が終了し、30数名の来場者のうち、19名の相談に応じました。次回の入会申込に期待されるところです。



ウッディA・B班合同の出前講座

2月23日、ウッディタウンA・B班はウッディ市民センターにおきまして、さんだ市政出前講座を受講しました。出席者は37名、今回の講座名は「三田の里山」と「ふるさと三田の歴史と文化財」でした。

「三田の里山」では、私達の身近な里山の荒廃ぶりが講師の説明と、写しだされる映像でびっくりしました。ボランティアの方々が日々努力して、日当たりのよい里山をめざして頑張っておられるとか。うれしく思い機会があれば、グループに参加したいと思いました。

「ふるさと三田の歴史と文化財」はこれまたびっくり、三田市末の「東仲古墳」で刀の鏢どめ(銀象眼)が出土(六世紀後半)有力者の墓だろうとのこと、畿内の中央権力となんらかの形で結びつく地域の有力者が存在していた証拠だとか。他にもニュータウンの造成地に多くの古墳が見つかりました。先行して発掘が行われましたが、又埋戻しているそうです。講師の方の説明では、資料として残しているが、もう目にする事はないでしょう。とのことでした。三田に住まいして長いですが、まだまだ知らないことも多く、機会があれば又勉強したいと思いました。



地域班の班会案内

地域班の班会を案内しますので、参加くださるようお願い致します。

地域班	場所	開催日	開始時間
三田	三田市民センター	4月20日(金)	10:30~
三輪	三輪会館	4月25日(水)	11:00~
小野	有馬富士共生センター	4月24日(火)	10:00~
高平	高平ふるさと交流センター	4月24日(火)	10:30~
広野	広野市民センター	4月25日(水)	10:30~
藍・本庄	藍市民センター	4月27日(金)	10:00~
フラワー	フラワータウン市民センター	4月26日(木)	10:30~
ウッディ A・B	ウッディタウン市民センター	4月23日(月)	10:00~

折々の花

春の訪れを真っ先に知らせてくれる野草を2点ご紹介いたします。

① オオイヌノフグリ



おっ、今日は暖かいな！と思ったら、道端や芝生、畑をご覧ください。直径5ミリのほどのコバルトブルーの花が点々と咲き始

めています。

この花の名前が「オオイヌノフグリ」です。原産地はヨーロッパですが、明治初期、東京で発見。以後急速に分布が拡大し、今では日本全土でありふれた花になっています。

名前のフグリとは陰囊のことです。実の形が雄犬のそれに似ているところからこの名前がつけました。「おっきいイヌのキンタマ」という意味です。

学名は「ペロニカ」と言います。重い十字架を背負って、刑場に向かうキリストの汗を拭いてあげた女性のハンカチに、キリストの顔が浮かび上がる奇跡が起きた、と伝えられています。この時の女性の名前がペロニカでした。花をよく見ると、花の中にキリストらしい人の顔が浮かび上がっています。

オオバコ科クワガタソウ属の越年草です。花言葉は、「信頼」「神聖」「清らか」などがあります。

② ヒメオドリコソウ



この花も原産地はヨーロッパで、明治時代中期に東京で見つけられ、以後全国に広がりました。砂質土から粘土まで土壌の適応性が

高く、いわばどこにでも繁殖できます。

花の形が笠をかぶった踊り子を思わせるところから命名されました。しばしばホトケノザと共に生えていますが、葉の上部が暗紫色を帯びていること、また葉の先がとがっていることから容易に見分けることができます。

葉の先端の脇に、小さな唇形をした可愛い、淡い紅紫色の花をたくさんつけます。

シソ科オドリコソウ属の越年草です。花言葉は、「快活」「陽気」「愛嬌」などです。

(T・N記)

笑顔研究所
あなたが笑顔になる時は

きぬがわ かずひこ
衣川 和彦 さん



今回はあと4~5年のうちに、残った6峰に登り、「日本百名山」全山踏破の夢をお持ちの衣川さんにお話を伺いました。

平成23年4月の入会で、昨年12月まで新三田駐輪場で就業されてきました。今年72才です。

山登りのきっかけは18才で入社した会社の登山部に同期の友人と共に入部してからだそうです。それ以来、北海道から九州屋久島までたくさんの山に登ってこられました。

あるとき、たまたま山小屋で出会った人から「日本百名山」が人気になっていることを教わり、その時、すでにそのうち34~5峰は登頂済みであることを知りました。それなら全山踏破を目指そうじゃないか！と目標にし始めたわけです。目標達成と体力の維持増強のため、「兵庫百名山」を中心に、今でも月に2つは一人で登っておられるとのこと。

なだらかな山の場合は、イヤがる奥さんの手を引いて一緒に登ることもあるとか。

一度登ると足がパンパンに腫れあがって辛いのですが、1~2週間もたつと平常に戻り、そうするとまたしきりと山に行きたくなるそうです。登山だけではなく、地図や時刻表を前にルートを検討したり、またその土地の名産、名湯などを調べたりすることも大きな楽しみのひとつとおっしゃいます。

笑顔になれるときはどんなときでしょうか？とお尋ねすると、「やはり、山登りのことを考えている時が一番楽しくて、笑顔になりますね。」とのことでした。

「今後は、登山の時、見たパラグライダーに挑戦したいなあ！」と笑顔でお話されていました。(T・N記)



平成29年6月山形県・大朝日岳山頂にて
1,870m

3月12日からの行事予定

3月	15日	(木)	交通安全講習会(9:30~) 於・ウディイカ市市民センター
	20日	(火)	仕事の相談日(10:00~) (21日水曜は祝日のため)
	23日	(金)	理事会(13:30~)
4月	13日	(金)	入会説明会(13:30~)
	18日	(火)	仕事の相談日(10:00~)



立春から1ヶ月以上になりますが春とは名のみ。寒い三田は春が待ち遠しいですね！せめて和菓子で春を感じたいと思います。昔から美味しい日本の和菓子があります。ぼた餅・イチゴ大福・桜餅・うぐいす餅・三色団子・・・お抹茶や少し濃いめの緑茶などと合わせてゆっくりと味わってみませんか？

今回は簡単な「イチゴ大福」の作り方ををご紹介します。

- 材料** イチゴ8個 白玉粉100g
 水120cc 砂糖50g
 こしあん又は粒あん 240g
 片栗粉大さじ2



作り方

- ① イチゴは洗って水けをきりヘタを取る
- ② こしあん又は粒あんを30g×8個に分ける
(量りにあんをのせれば簡単)
- ③ ラップの上にあんを乗せ、イチゴを乗せて包み、丸める
- ④ 耐熱容器に白玉粉を入れ、水を加えて溶かす
→砂糖を入れてかき混ぜる
→フタをしてレンジ600Wで2分加熱後、取り出しかき混ぜる
- ⑤ 再度フタをして600Wで1分30秒加熱し取り出して半透明になるまでよく混ぜる(熱いのでご注意!)
- ⑥ 片栗粉をバットに広げ、手を濡らしながら、まだ少し熱い生地を8個に分けて片栗粉の上に落とす
- ⑦ 生地を平らにし中心にあんで包んだイチゴを乗せ、周りから生地を伸ばすようにして包み込む
(イチゴの頭を出しても良い) → 完成!

如何ですか？ 一度ご家庭でも作ってみられませんか？
 暑さ寒さも彼岸まで・・・春までもう少しの辛抱ですね。

(A・O記)

新入会員紹介 (順不同・敬称略)

今回は19名の方が会員登録されました。

個人情報の為、お名前は伏せています。

次回の配分金の支払いは4月10日(火)です

項目	平成28年度実績	平成29年度速報
会員数(人)	1,092	1,141
受注件数	2,602	2,715
約金額(円)	453,564,984	451,678,799

(平成28年度・29年度2月度)

伝言板

虫糞い(むしやしない)

先日、本を読んでみると、この言葉が出てきました。久しぶりに見聞きすることばです。

「モォー腹の立つ、今日はどうしてこんなにイライラするのかしら」虫の居所の悪い時がありますが、その虫ではありません。お腹が「グゥー」となる空腹時の虫の事です。「大事な所要のある時」「帰宅するのが、遅くなりそうな時」「三度の食事の中途半端な時」「余り重いものを食べるのに時間の余裕も無い時」等そんな時、少しのタコ焼きや、一本のおダンゴを頂くとホッとしますね、それを「虫糞い」といいます。

皆さんも三時のおやつは、とても楽しみですよ、一枚のおセンベイやチョコレートを2ツブ、熱いお茶のお友に。お友達がご一諸なら言うことはありませんね。

私もここで一休み、小さなアンパンと砂糖抜きのコヒーをいただきます。“ヒトヤスミ・ヒトヤスミ、”

(M・Y記)